

第9回香美市立美良布保育園建設検討委員会
会議録要旨

【開催日時】 令和4年9月27日（火） 18時30分～20時30分

【開催場所】 香美市役所本庁舎 3階会議室

【出席者】 浜田委員長、信崎副委員長、江西委員、井本委員、井村委員、山下委員、式地委員、小松委員、五百藏委員、中山委員、前田委員（11名）

【欠席者】 森田委員、杉本委員（2名）

【事務局】 依光市長、白川教育長、秋月教育次長
企画財政課 小松（財政班長）
教育振興課 公文（課長）、幼保支援班 小松（班長）、大倉（係長）
選挙管理委員会 高橋（事務引継のため）

【傍聴者】 8名

【要 旨】

1 開 会

事務局より開会宣言。

2 あいさつ

教育長、市長よりあいさつ。

事務局より、資料の確認、出席委員が定足数を満たしており、会議が成立することの報告。委員長より、会議の公開について確認のうえ、傍聴人の入室を許可。

3 議事（会議の議長は委員長が務める）

（1）香美市立美良布保育園建設の進捗状況について

資料により事務局から説明。

（建設スケジュールの変更、庁内関係部署間協議の結果を報告）

4月に策定した基本計画をもとにプロポーザル公募の準備を行っていたが、建設予定土地の詳細確認や、技術職員等庁内関係部署実務者間での協議を行った結果、プロポーザル公募の前に市道、水路の位置をあらかじめ決定し、建設予定地の測量図を確定させてから実施するほうが望ましいとの意見があった。

このことから、今年度中に市道、水路の位置の設計等を先行実施し、プロポーザル公募は来年度の実施見込みとする。

また、4月に交代した依光市長から、仮園舎に要する経費の節約や、工事期間中の交通、騒音等を考慮し、別用地への移転も含め、再検討するよう指示があった。

このことから仮園舎の有（D-1案）又は無（D-2案）及び別用地への移転（C案）を含む3案を想定した建設経費の比較等を行った。

【市長】

市長になって財政についても考えるところがある。やなせ先生を顕彰するための展示館の構想等、美良布地区にも投資をしたいと考えている。いいものを作りたいという思いはあるが、知恵を出して削れるところは削りたいという思い、また資材の高騰という心配もあり、再度検討するものである。

【議長】

検討委員会ではC案（移転）、D-1案（現地建替仮園舎有）については検討してきたところであるが、今回新たに庁内会でD-2案（現地建替仮園舎無）を含めてということになった。

時期的なものについては、当初、令和8年4月開園を1年前倒しし、1年でも早く建設するとしていたが、プロポーザルを受ける方としては境界確定、高低差等が欲しい情報であるため、そのために時間を要するというのであれば仕方ないということになった。

今回、特に議論してほしいのは、これまで検討していなかった新たな提案、新たなスケジュールの件である。考えるところがあれば発言をいただきたい。

【山下委員】

検討委員会で諮っていないD-2案は、仮園舎無しという点で引っかかる。一部を壊して一部を建替しつつ行う保育を想像してみたが、安全面、騒音、粉塵の問題、コロナ禍での密を避けること、換気等をどうクリアするのが心配である。

予算の違いで子どもの安全が脅かされるのはどうかと思う。老朽化が著しく、南海地震の心配もあり、できるだけ早くという思いがある。

立地条件についても小中学校、支所が周囲にある、個別に離れたところではない現園舎の位置に建てるのが望ましいと思っている。

【井本委員】

D-2案は一部開園して1年後に全面開園となれば、気分的に新築という感じは出ない。仮園舎を壊すのはもったいないと思うが、最初の案のとおり早く建ててほしいと思う。

【議長】

D-2案は子供の安全面の担保、このことが一番の問題になると思う。保育の専門家から見た意見はどうか。

【中山委員】

同じくD-1案が一番と思っている。仮園舎を残して何か活用できる方法はないのかなとも思う。D-2案の場合、建物内の保育だけでなく、外での保育をどう考えているのか？

【事務局】

庁内の会で、プロポーザルの際、仮園舎ありきというのではなく、仮園舎の無い場合でも子供たちの安全が担保できるプランも含めてもいいのではないかという意見もあった。どのプランが一番良いか選択の幅が広がる方が良いとの考えによりD-2案が浮上したものである。

【式地委員】

D-2案の場合、解体を始めると園庭が使えないものと想像する。外遊びができないとなると発達の面を考えると思わしくない。子どもたちが安全に過ごせる場所をきちんと確保できるようにしないと、子どもたちのことが心配であるので、慎重に考えてほしい。

【五百藏委員】

D-1案でも園庭が使えなくなるのは同じではないか？

【議長】

これまでの議論では今の面積を使うことはできないが、十分かどうかは別として一定の面積は確保できるという認識である。

【江西委員】

設計者の立場としてD-2案には驚いている。国民の生命、健康、財産を守ることが建物の役割である。この検討会では一貫して子供のためにということを主軸に話し合われてきた。仮園舎無の場合は確かに金額的には安くなるかもしれないが、工事車両の行き来等も考えると、1期工事、2期工事となるとストレスがたまり、大変である。ま

た、設計士は子供のことをよく知っているわけではないので、園長先生、保育士とよく話をすべきだと思う。人にやさしいという視点でできる建物に期待している。

【市長】

今回は設計コンペをやるつもりはない。設計の考え方で選定するつもりである。実際の設計に関しては園長先生も含めて、使い勝手の良いように修正をかけながら進めていく。

【議長】

検討委員会としてはD-1案とC案しか検討していないので、新しいD-2案が出た場合は、それに対して当然意見は言わせていただく。ただ、どれが一番適切であるか、何のためにこの建物を建てるのか検討してきているので、そのことには一定責任を持っている。だから新たに出てきた案に対して責任は持てない。

それは議論してないから。今日議論してそれはいいとなればそれはそれでよいと思う。そういう意味では変更するのであれば責任をもって変更していかなければならないと思う。D-2案については皆さんの意見を聞いたうえで行政が判断をしていくということではよろしいか？

【小松委員】

D-2案は今までなかった話である。保育園の先生方の安全面での意見はまさにその通りである。建築に関しては素人であるが、それにしても外部から見て危険性は十分にあると思うので、ぜひ止めてほしい。

【井村委員】

子どもたちが安全に過ごせるのが何よりも大事である。予算よりも優先されるべきと考える。仮園舎の有無については、プロポーザルの一つの材料として設計の方に投げることも有りかとも思うが、保育園という性格を考えると、子どもたちの安全のことを外に任せすぎかと思う。

高知工科大学が高知市内にキャンパスを建てたときは3期工事で建てた。その際は区割りをして別々の工事だったが、それでもストレスは多い環境だった。できる限り速やかに利用できるようにしてあげるのが大事である。現時点ではD-2案には同意できてはいない。

【議長】

委員会として検討してきたことは尊重していただきたい。それは子どもたちの安全安心ということを計画の柱としているからである。それが守れないようであるなら検討委員会で何のための検討だったのか分からなくなる。D-2案に関してはみんな同じ意見だと思う。これまで会を重ねてきて検討してきたわけであるから、今日すぐにお答えはできないと思う。子どもの安心安全がどれだけ担保できるかという部分もないし、園庭がなくなってしまうという点で、何らかの形で園庭を残すことができるという方法が今の形になっている。

【信崎委員】

乳幼児期の子供たちが園舎で長時間過ごすにあたって、D-2案は園庭が広く使えないなど、子供の安全安心を考えた場合、建物の危険性が増したり、ストレスがかかるなど、心配な点が大きくなることから、委員会で決めたD-1案がよいと思う。

【議長】

令和2年8月から検討委員会で協議を行ってきた結果、委員さんも香北の子供たちを自分の子供たちのように思いながら話し合ってきた。財政的に厳しいかもしれないが、お金より生命、信用、安心が町として重要だと思うので、行政側で今後どのように進めていくのか、考えていただきたい。

(2) 香美市立美良布保育園建設基本計画の変更について

資料により事務局から説明。

(1)で協議を行った内容を踏まえ、基本計画が変更となる箇所を確認。香美市都市計画マスタープランによる香北地域の人口推計や児童数の見込み、美良布保育園の入園実績等をもとに新園舎の定員数を120人とする案、建設スケジュールの変更案、仮園舎を建設するとしていた表現を、設計の内容によっては仮園舎の有無を設計業者が検討できるよう、表現を変更する案等が提案された。

【議長】

これまで議論をしてきて、2月に前の計画を取りまとめている。計画自体が大きく変わっているわけではないが、香北地区の人口減少を踏まえて定員が130人から120人に減っている。

あまり変えるところはないかもしれないが、ご意見をお伺いしたい。

【山下委員】

定員の部分はよく分かった。今年の人数が減ったので問題はないと思う。市として考えていく中で、仮園舎が必要となった場合には、十分な安全対策をとることが書かれているので、納得する部分ではある。

【前田委員】

建設にあたって、施設の中に送迎用駐車場を入れることは含めるという余地があれば、駐車場として安心して使えると思う。今は、職員駐車場と同じ駐車場に子供さんのお迎えが来ているので、そうした配慮もお願いしたい。

【事務局】

計画書(案)18ページ<施設の内容の規模と決定>18番の送迎用駐車場の項目で用地を確保するものとしている。敷地内のプールの跡地ということもあるが、人や自動

車の送迎については安全が担保できるような駐車場整備を考えていきたい。

【前田委員】

職員の出入りがあると思うので、そうした考えが必要かと思う。よろしく願いしたい。

【議長】

個人的な意見であるが、園庭の減った面積をどこに振り分けるかということになってくる。保育園周辺の道路が広くできればありがたいと思う。今は一方通行になっており、狭いので、難しい面もあると思うが、配慮していただきたい。

【事務局】

市道の取り回しを設計するときに、交互通行ができるように設計をしたいと考えている。今ある道を広げるかどうかは困難なところがあり、明確に答えることはできないが、新しいところは広めに取りたい。

【議長】

そこを含めて、園庭を引っ込める形で、市道にすることができるのかどうかを検討していただきたい。

【中山委員】

計画書（案）18ページ〈施設の内容の規模と決定〉12番、13番が気になる。

12番の倉庫が屋外になると、距離ができてしまい、頻繁に使うものが出しにくいということが出てくるのではないかと思う。13番の防災倉庫については別棟でも問題ないと思うが、12番の倉庫については、使い勝手の良い倉庫にした方が良いのではないか。

【議長】

12番については、少しでも予算を削りたいという思いがあって入れた文言である。

【事務局】

12番の文言（屋外、既設の子育てセンターびらふ内の部屋を活用する事も可能とする）を加えたのは、面積が少なくなるので、どこか工夫するところがないかということで事務局で話をした際に、出てきた話である。12番の文言については削除したい。

【五百藏委員】

以前の委員会では、建設にあたって、香美市の木材を伐採し、しばらく寝かせてから、使うということであった。事業費を削るということであれば、地域の方が美良布保育園のために木材の寄付をするということも考えられるが、それができるかどうか。

【市長】

今回の建設にあたっては、森林組合から木材を調達するよう考えている。建設にあたっては、特殊な木の使用が難しいので、一般流通材を使えたらいいかと考えている。

【江西委員】

香美市は木がふんだんにあり、園舎の全ての材を賄えるという点では県内でも珍しい。香美市は木材が地元の住宅に多く出ているので、価格的には安く買えるのではないかと考える。

【小松委員】

計画書（案）17ページ〈施設の内容の規模と決定〉の10番で、子育てセンターびらふ内の部屋を会議室として活用するということであるが、これは現在きれいに使える状態なのか。もしかすると、子育てセンターの方にも改修費が必要なのではないか。

【事務局】

改修を加えなければならないということがであれば、単独で子育てセンターびらふの改修はありうると思うが、この建設事業とセットで行うということは考えていない。仮に修繕が必要ということであれば、別で対応するということになるかと考えている。

【小松委員】

子育てセンター側も要望として挙げておいてはどうか。

【式地委員】

大変ありがたい話である。挙げるとすれば、天井の黒カビ対策がある。横殴りの雨が降ると、黒カビが生えて良くないので、通路を改修してもらいたい。また、建ってから20年以上経過しているので建付けが悪いといったことがある。

【議長】

我々は選ばれて、市の方にこのような形で建てたらどうかということで話を挙げている。基本的には、市が予算をとってやるわけで、入札や建設に係る事務は当然、市が行うことになる。今日出た意見については、事務局で配慮しながら進めていってもらいたいと思う。

本日の会はこれで閉会とする。